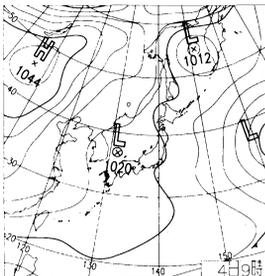


# 日々の天気図

—No. 13

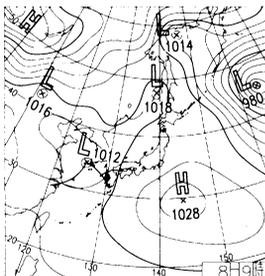
2003年2月

- ・9日～10日、暖気が入り全国的に気温が高く、3月から4月並みの春の陽気。
- ・20日、本州上に寒気が南下し、低気圧が急発達。西日本で雷雨や降ひょう。父島で最大瞬間風速34.8m/s。(気象庁予報部予報課)



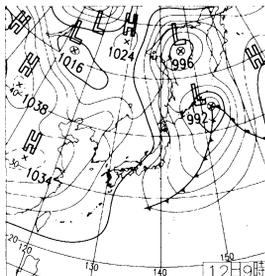
## 4日(火)雪が舞う立春の東京

気圧の谷が近づき、北日本の雪は止んできたが、西日本から次第に雨。関東以西の最高気温平年より2～3度低く、日中雪がちらついた東京は6.0℃で3.9℃低い。



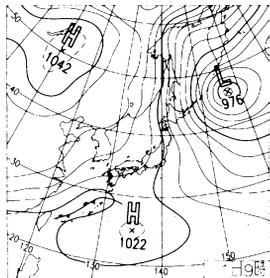
## 8日(土)九州南部で「春一番」

対馬海峡を低気圧が東北東進。九州は朝から、中国・四国は昼から雨で、徳島県日和佐町で20時までの1時間で45mmの大雨。鹿児島などで南寄りの風が強まり「春一番」観測。



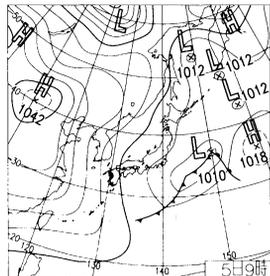
## 12日(水)高知タンポポ開花

北日本は冬型の気圧配置続くが、西日本から次第に緩む。日本海側は曇り、北陸より北は雪。太平洋側は関東南部を除き晴れ。高知で平年より12日早いタンポポの開花。



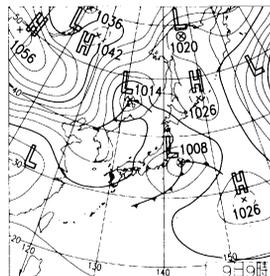
## 1日(土)スペースシャトル事故

北日本は冬型の気圧配置で、北陸から北の日本海側は雪。関東から東海は晴れたが、西日本は曇り、九州は雨の所も。米スペースシャトル・コロンビア帰還途中に空中分解。



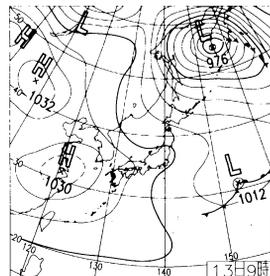
## 5日(水)さっぽろ雪祭り開幕

本州上空5300m付近に-36℃以下の寒気が流入し、日本海側で雪。西日本を中心に気温が低く、札幌の最高気温-0.8℃は平年並み。南大東島でヒカンザクラ満開。



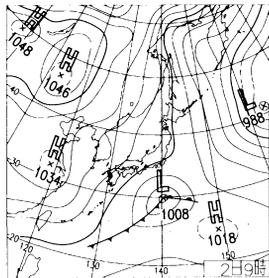
## 9日(日)春の陽気

関東沿岸を通して低気圧が東進。太平洋側は天気回復し一般に晴れ。日本海側は曇り一部で雨や雪。暖気が入り全国的に3～4月の陽気。高知の最高気温19.7℃。



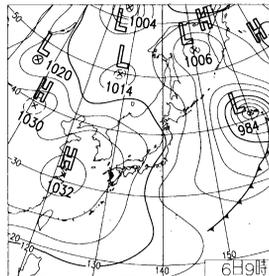
## 13日(木)冬型の気圧配置緩む

西日本から高気圧が張り出すが、北日本や北陸は雪。その他は大体晴れ。朝の冷え込みは弱かったが、日中の気温は上がらず。広島・徳島でツバキ、八丈島でタンポポ開花。



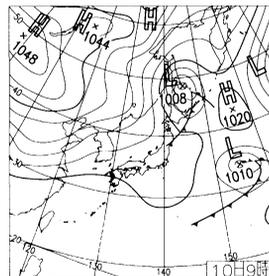
## 2日(日)寒い一日

冬型の気圧配置で、日本海側は雪や雨。太平洋側は概ね晴れるが、本州の南海上を通過した低気圧の影響により関東南部は曇り、沿岸部や伊豆諸島で弱い雨や雪。



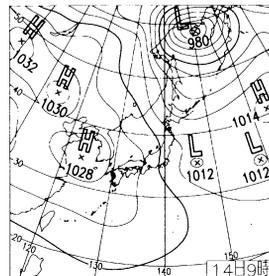
## 6日(木)北海道冷え込む

冬型の気圧配置続き、日本海側の所々で雪。太平洋側は晴れ。北海道内陸部では放射冷却が強まり、最低気温は上川支庁占冠町で-31.1℃。埼玉県内でJRの架線凍結。



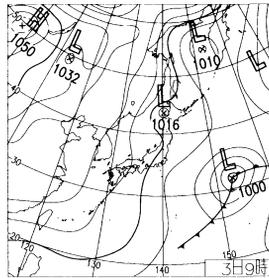
## 10日(月)全国的に温かい朝

北日本を寒冷前線が通過し、所々で雨や雪。その他の地方は高気圧が張り出し、晴れや曇り。明け方の最低気温は全国的に平年より高く、旭川の-0.7℃は平年より12.5℃高い。



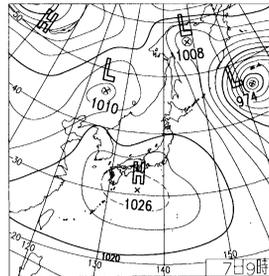
## 14日(金)大島でウグイス初鳴

冬型の気圧配置の北日本で雪。北陸では雨やみぞれ。高気圧に覆われた関東以西は晴れて穏やかな天気。伊豆大島でウグイスの初鳴を観測。平年に比べ4日遅い。



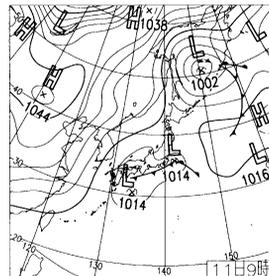
## 3日(月)穏やかな節分

北海道から本州の日本海側で弱い雪やみぞれ、他は概ね晴れ。朝は内陸で冷え込み、岐阜県高山は-12.6℃と今冬一番の低さ。宮古島でヒカンザクラ満開。平年より6日早い。



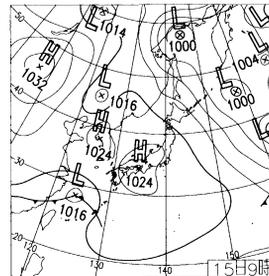
## 7日(金)根室で流水沿岸

高気圧に覆われ、北日本の一部で雪や雨の他は、全国的に晴れ穏やかな天気。最高気温は平年より3～6度高く、那覇でヒカンザクラ満開。根室で平年より11日早い流水沿岸。



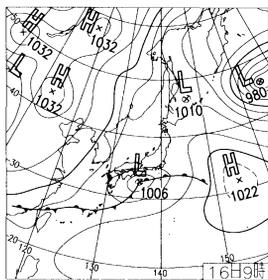
## 11日(火)雨模様の日

本州南岸には低気圧や前線がかかり、北日本で雪が降り、全国的にも雨や曇りの天気。この日も気温は平年より高めで、特に朝は北海道を除いて4月の暖かさ。



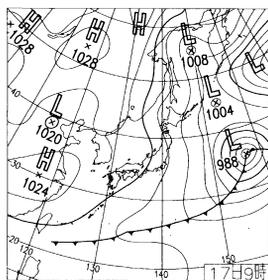
## 15日(土)九州から雨が降り出す

低気圧の影響で九州と南西諸島で雨。鹿児島県久町で日雨量105mm。本州は日本海側を中心に雪。熊谷でウメ、浜松でツバキ開花。



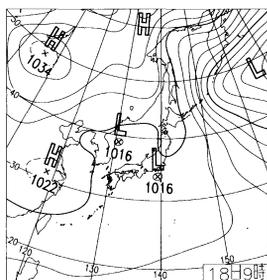
16日(日)東京9度目の雪

低気圧が本州南岸を東進、関東以西は雨、内陸は雪、関東も夕方一時雪やみぞれ、東京の雪はこの冬9度目、関東地方は日中の気温が上がらず肌寒い一日。



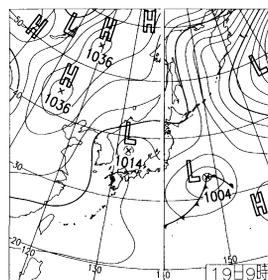
17日(月)米東部で大雪

冬型の気圧配置で北日本は雪や雨が残ったが、西・東日本は高気圧に覆われ、3月中旬並みの暖かさ。アメリカでは大雪により40人以上が死亡、連邦政府機関や主要空港も閉鎖。



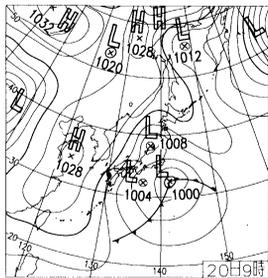
18日(火)近畿から東北で弱い雨

低気圧が南海上を東進、近畿から東北の沿岸部を中心に弱い雨。気温は北海道で平年より低く、九州・四国は高め、兵庫県豊岡でウメ開花。韓国地下鉄で車両火災、死傷者多数。



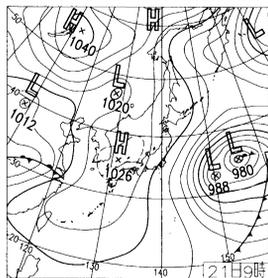
19日(水)イカナゴ漁始まる

日本海で低気圧停滞し、別の低気圧が関東の東海上に進ぶ。本州中部以北で晴れた他は曇りや雨。瀬戸内海播磨灘から春の漁の便り。潮岬でタンポポ、八丈島でウメ開花。



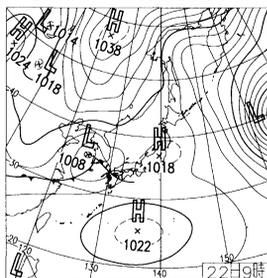
20日(木)低気圧が急発達

本州上に寒気が南下し、低気圧が発達。各地で北寄りの強風、西日本は雷・降ひょう。最大瞬間風速は父島で34.8 m/s、島根県浜田で26.3 m/s、三重県津で26.2 m/s。



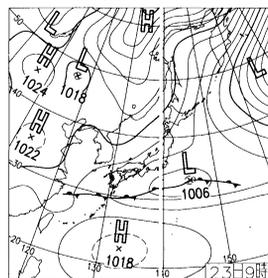
21日(金)移動性高気圧

日本列島は高気圧に覆われ、東北と北陸の所々で曇りや雪の他は、概ね晴れ。気温は北海道を除き平年並み。南大東島でウグイスが初鳴き。北海道襟裳岬に2年ぶりに流水接近。



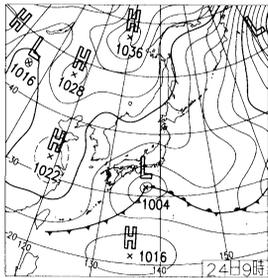
22日(土)九州で気温上昇

黄海付近の低気圧により西～東日本の広い範囲で雨。阿蘇山では15時までの1時間に21.5 mmの強い雨。鹿児島も弱い雨が降り続いたが、最高気温19.9℃で春雨の気配。



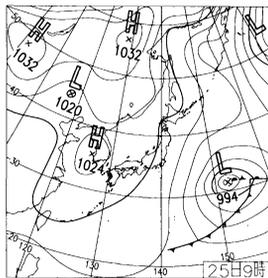
23日(日)前線停滞

日本付近は弱い気圧の谷で、南海上に前線が停滞。北海道と東北北部では晴れたがその他は曇り、一部では弱い雨。気温は引き続き西日本で高く、4月上～下旬並みの所も。



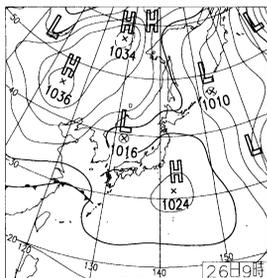
24日(月)中国・新疆で地震

南海上を低気圧が東進し、西日本の太平洋側で雨。関東は雨や雪で真冬の寒さ、東京の雪は今冬10度目。中国西部の新疆ウイグル自治区でマグニチュード6.3の地震、死者多数。



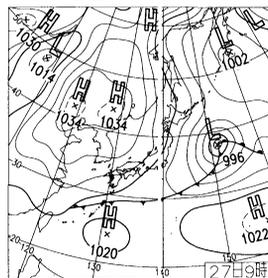
25日(火)大学2次試験始まる

高気圧に覆われ、北陸や山陰で曇りや雪の他は、概ね晴れ。気温は北日本は平年より低めだが他は平年並み。新潟県高田でウメ開花。国公立大学2次試験に約57万人が志願。



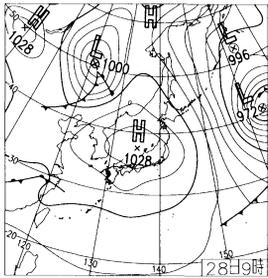
26日(水)日本海を低気圧東進

日本海を低気圧が進み、西日本から雨が降り出す。北日本は曇りや雪、関東は晴れまたは曇り。北海道は各地で真冬が続いているが、他は3月並みの暖かさ。



27日(木)南極でオーロラ観測

南極の昭和基地で今年初めてのオーロラを観測。日本付近は冬型の気圧配置で北日本と東・西日本の日本海側の所々で雪や雨、太平洋側は晴れ。大阪、京都でタンポポ開花。



28日(金)東京最小湿度6%

全国的に晴れて穏やか。朝は西日本を除き気温が低かったが日中は平年並みかやや高めとなった。東京で最小湿度6%となり、年間1位タイ記録。名古屋でタンポポ開花。